

TOYO ELECTRIC CORPORATION



電子の夢を創る

東洋電機株式会社

証券コード:6655

第79期 上半期報告書

平成29年4月1日から平成29年9月30日まで

Contents

トップインタビュー

**改革・改善の手をゆるめず、
明日につながる
事業基盤づくりを**

P 1

決算ハイライト

P 3

TOYOのものづくり／トピックス

P 4

セグメント別概況

P 5

連結決算概要

P 7

社員インタビュー

P 9

会社概要／株式状況

P 10



改革・改善の手をゆるめず、 明日につながる 事業基盤づくりを

株主の皆様には日頃のご支援に心より感謝申し上げます。
当上半期は、国内連結子会社の奮闘により、まずまずの業績となりました。
ただ、東洋電機本体の業績は必ずしも満足のいくものではありません。
引き続き期末に向けた努力を続けてまいります。
株主の皆様には引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 松尾 昇光

Q 景気は上向いている
とのことですが、
東洋電機の上半期は
いかがでしたか。

A…当上半期は、売上高で前年同期を上回ったものの、利益面ではやや不満の残る結果となりました。国内の連結子会社である東洋樹脂、東洋電機ファシリティサービス、東洋板金製造の業績が総じて堅調だったにもかかわらず、東洋電機本体の売上げ、利益が伸びていないことが要因です。

株式市場の活況など景況感は上向いており、企業の設備投資意欲も実感できるのですが、もう一押しが足りていません。

Q 国内の主要事業の
動きについても
お聞かせください。

A…制御装置関連事業は、機器部門が好調だったものの、エンジニアリング部門と変圧器部門が苦戦しました。案件の声掛けは数多くあるものの、仕事は先送りされる傾向が強く、売上げにつながりません。

機器部門は、ビルのリニューアル需要により前年比で1割程度の増加となっています。また、FA機器関連の空間光伝送装置は、韓国の半導体メーカーからの受注に加え、国内の物流市場の需要もあり、前年比で3割増となりました。電力調整器は、自動車

関連の電気炉などの需要により前年を上回っています。

エンジニアリング部門は、物流向けの搬送制御装置関連で案件の先送りが見られました。デジタル印刷関連の印刷制御装置は需要が縮小しました。配電盤は上向いています。モーターコントロールセンターは鉄鋼、ゴミ焼却炉などの環境関連需要に根強いものがありますが、オリンピック関連の工事が優先され、先送りとなっています。

変圧器部門は、他社との価格競争で競り負けるケースも見られ、3部門の中で最も苦戦しています。

子会社の東洋樹脂は、自動車の内装材に強化プラスチックなどの素材を供給し、自動車の軽量化というニーズに応えました。

Q 海外子会社は想定どおりで推移していますか。

A…中国で盤事業と電子事業を展開する南京華洋電気有限公司は、当上半期も苦戦しました。盤事業では、シーケンサーなどのソフトを強化し、付加価値を付けて活路を開こうとしています。電子事業では、エレベータセンサは、中国企業との競争が激化しています。対策として、仕様と価格を現地のニーズに合わせたセカンドブランドの製品化を急いでいます。この動きを加速するため、日本からも技術者1名を現地に出向させました。

前期末に初の黒字化を達成したThai Toyo Electric Co.,Ltd.は、無人搬送車用の光伝送装置、電力調整器などへと販売品目を広げています。4月から新たに1名を営業担当として現地に常駐とし、日本人2名体制で日系商社などへの販路拡大を急いでいます。タイは経済も持ち直してきて

おり、今後は鉄道や製鉄所など社会インフラ向けの仕事も期待できそうです。

Q お客様の開拓には営業と開発・製造との連携も必要ではありませんか。

A…新しいお客様に食い込み、太いパイプを築くには、営業の力だけでは難しいところがあります。営業、開発、製造の3者の連携が欠かせません。当社は、月初めに3つの部門からヒアリングを受け、相互に協力できる体制づくりを急いでいます。

開発の責任者には営業と一緒に外に出るように指示しています。お客様が求めるものを肌で感じる事ができれば、開発のヒントにもなります。お客様のご担当と技術的につながってこそ、喜んでいただける製品づくりに向けたチャンスも生まれます。技術者の視野を広めるためにも、外部に出てほしいと思っています。

最近では、モノづくりの現場でもIoT(モノのインターネット)の活用が叫ばれています。職場や工場の温湿度の管理も重要になっており、当社の無線式モニタリングシステム(MAGICBEE)や空間光伝送装置(Ethernet対応)などを展開していきます。

Q 働き方改革が叫ばれています。東洋電機も人材活用で新たな動きを強めていますか。

A…社会の成熟への対応として、従業員の多様な価値観とキャリアアップの尊重、仕事と育児・介護の両立支援など、企業と従業員の新しい関係を模索しています。当社は設備投資関連の機器を製造するモノづくり企業ということもあり、これまでは典型的な男性中心の会社でした。しかし、男性社会

の論理だけでこれからの経営がうまくいくわけではありません。

たとえば女性は仕事のほかに育児などの負担を背負ってきましたが、最近では男性に負けないハツラツとした働き方をする女性も増えています。

これからの企業は、男女が協力してこそ成果につながります。当社も女性のキャリアアップに向けた支援を続けていきます。

当社は中国とタイに海外子会社を持っています。やがて海外拠点の運営も現地化が望まれます。現在、中国とタイから17名の研修生を受け入れていますが、彼らが希望すれば日本と現地で採用する予定です。

Q 株主の皆様へ一言メッセージをお願いします。

A…昨年10月、当社は株式の併合を行い、これまでの2株を1株にすると同時に単元株式を1,000株から100株に変更しました。お陰様で株主様の数は順調に増えています。また、株式市場の活性化で、新たな投資家の皆様にも評価いただいた結果、株価も次第に上向いてきました。引き続き、株主の皆様へのIRを強化し、情報発信に努めてまいります。今後ともよろしく願い申し上げます。

■ 通期の見通し

売上高	9,061百万円	前期比 7.2%増	▲
営業利益	370百万円	前期比 2.2%増	▲
経常利益	435百万円	前期比 2.9%増	▲
親会社株主に帰属する当期純利益	298百万円	前期比 3.3%増	▲

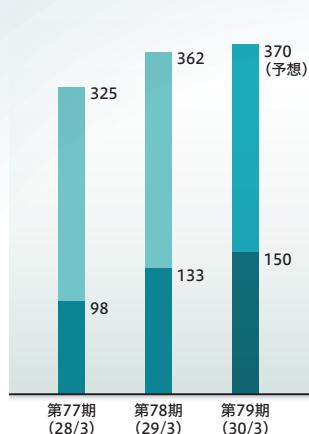
売上高

■ 通期 ■ 上半期 (単位:百万円)



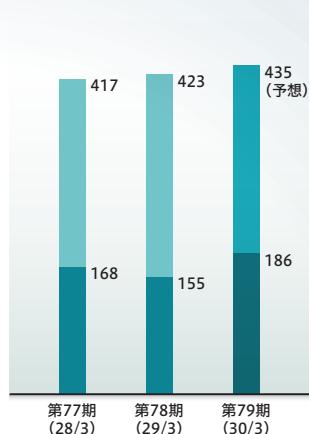
営業利益

■ 通期 ■ 上半期 (単位:百万円)



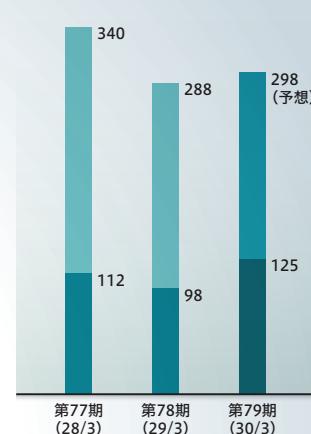
経常利益

■ 通期 ■ 上半期 (単位:百万円)



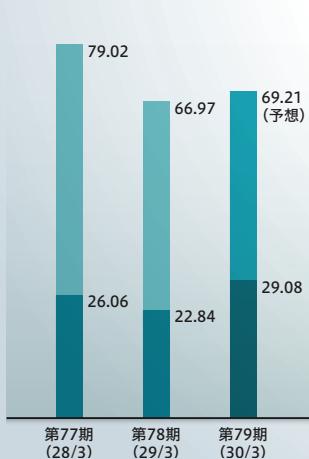
親会社株主に帰属する純利益

■ 通期 ■ 上半期 (単位:百万円)



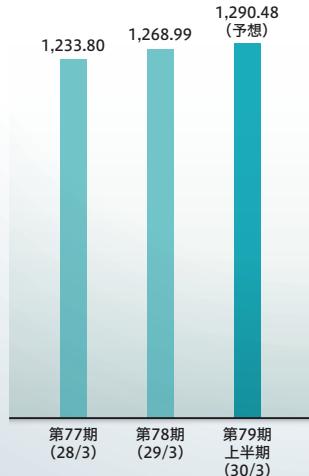
1株当たり純利益

■ 通期 ■ 上半期 (単位:円)



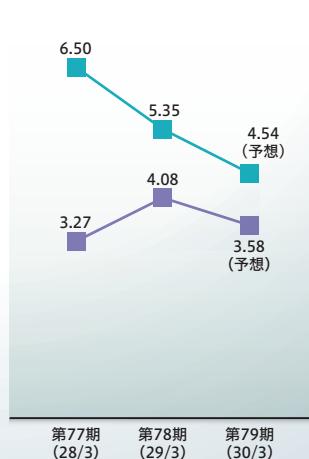
1株当たり純資産額(BPS)

■ 通期 ■ 上半期 (単位:円)



株主資本利益率(ROE)/総資産経常利益率(ROA)

■ 株主資本利益率(ROE) (単位:%)
■ 総資産経常利益率(ROA)



設備投資額/減価償却費

■ 設備投資額 ■ 減価償却費
■ 通期 ■ 上半期 (単位:百万円)



(注) 平成28年10月1日付で普通株式2株を1株にする株式併合を実施しております。これに伴い、1株当たり純利益および1株当たり純資産額(BPS)につきましては、第77期連結会計年度の期首より当該株式併合が行われたと仮定し算定しております。

高調波対策用 Kレート変圧器

改良により更なる高効率、軽量・コンパクト設計を実現。
安定した電気エネルギーの供給を支えます。

【特徴】

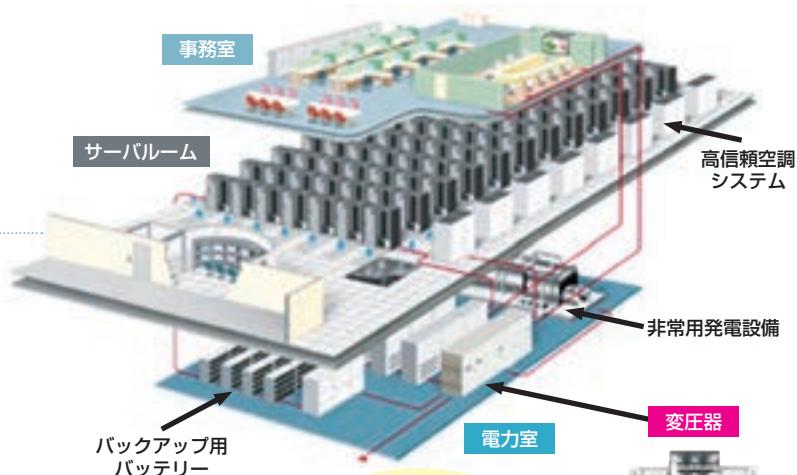
- ◎過電流損、N相電流の発生を軽減させることで高効率を実現します。
- ◎軽量・コンパクト設計により床荷重を低減。これにより、建設コストの削減を実現します。

【主な用途】

- ◎データセンターにおけるサーバ用分電盤への電源供給など。

【市場の動向】

- ◎クラウドサービスを利用した新たなビジネスの拡大。
- ◎企業のシステムサーバの移管によるデータセンター需要の拡大。



【今後の展開】

東洋電機独自の付加価値を更に高め、データセンター市場での拡販を目指します。



トピックス

Topics



「Mfairバンコク2017 ものづくり商談会」へ 出展しました

当社は、2017年6月21日(水)から23日(金)までの3日間にわたりタイ王国にて開催された「Mfairバンコク2017 ものづくり商談会」へ出展いたしました。

初日より多くのお客様との商談機会に恵まれ、3日間で約60社様とお打ち合わせさせていただきました。当社は、今後積極的な営業活動を展開し、お客様のご要望にお応えしてまいります。

1 国内制御装置関連事業

売上高 **3,362** 百万円

前年同四半期比 1.0%増

国内制御装置関連事業は、当社グループの中核事業として、日本国内を中心に事業展開しております。当事業は3部門から構成されており、その内、エンジニアリング部門ならびに機器部門の売上高が増加したものの、変圧器部門の売上高が減少したことにより、売上高は3,362百万円(前年同四半期比1.0%増)となりました。

エンジニアリング部門

26.6%

構成比

81.7%

変圧器部門

22.9%

機器部門

32.2%

【エンジニアリング部門】

売上高 **1,094** 百万円 [前年同四半期比0.7%増]

エンジニアリング部門の事業は、業種業界ごとに異なる制御システムを提供しております。当事業の内、配電盤分野が増加したものの、印刷制御装置分野が減少したことなどにより、売上高は1,094百万円(前年同四半期比0.7%増)となりました。

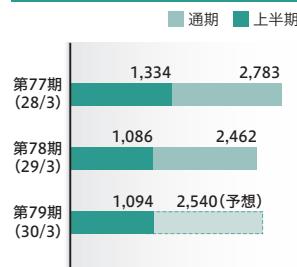
主要製品

- オンデマンドフォーム印刷機電装品
- インテリジェント多機能リレー (IPR)
- 省配線型搬送コントローラ (MRC)
- 宛名紙印刷搭載機



鉄道関連製品[無人駅高声電話機]

売上高推移 (単位:百万円)



【機器部門】

売上高 **1,324** 百万円 [前年同四半期比13.7%増]

機器部門の事業は、光技術を応用した様々な産業設備用機器を自社開発し、自社製品として提供しております。当事業の内、センサ分野および空間光伝送装置分野が増加したことなどにより、売上高は1,324百万円(前年同四半期比13.7%増)となりました。

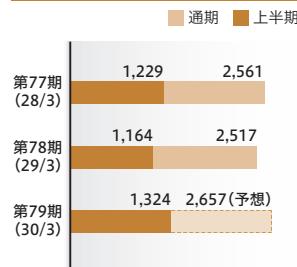
主要製品

- 空間光伝送装置
- エレベータ・エスカレータ関連機器
- 交流電力調整器
- 情報表示器



空間光伝送装置

売上高推移 (単位:百万円)



【変圧器部門】

売上高 **943** 百万円 [前年同四半期比12.4%減]

変圧器部門の事業は、当社が設立以来営んでおり、受配電用変圧器から機械設備用変圧器などを提供しております。当事業の内、受配電関連市場の落込みから需要が減少したことなどにより、売上高は943百万円(前年同四半期比12.4%減)となりました。

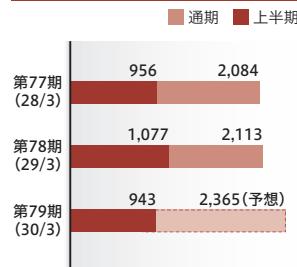
主要製品

- 乾式変圧器
- モールド変圧器
- 耐雷変圧器
- 始動リアクトル



乾式変圧器
TKHIIIシリーズ

売上高推移 (単位:百万円)



2 海外制御装置関連事業

売上高 **314** 百万円

前年同四半期比 8.9%減

海外制御装置関連事業は、当社グループの海外企業2社が事業を展開しており、中国南京市にある南京華洋電気有限公司は、中国国内向け盤関連製品の製造販売や、中国国内やタイ王国などに向けたエレベータ関連センサの製造販売を行っております。また、タイ王国にあるThai Toyo Electric Co.,Ltd.は、南京華洋電気有限公司から輸入したエレベータ関連センサの組立・検査・販売を行っております。

当事業は、中国国内での設備投資の回復により盤分野の需要は拡大したものの、タイ国内でエレベータセンサ需要が減少したことなどにより、売上高は314百万円(前年同四半期比8.9%減)となりました。

主要製品

- 盤関連製品
(南京華洋電気有限公司のみ)
- ・高圧受配電盤
- ・コントロールセンタ
- ・PLC応用制御盤

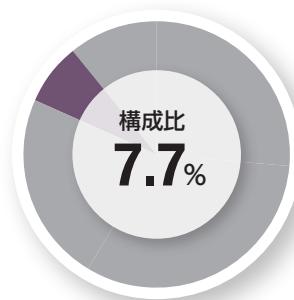


C型コントロールセンタ

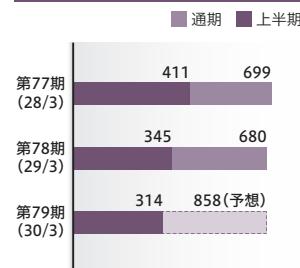


- エレベータ関連製品
(南京華洋電気有限公司と Thai Toyo Electric Co., Ltd.)
- ・マルチビームセンサ
- ・かご位置確認用センサ

エレベータセンサ
「かご位置確認用センサ」



売上高推移 (単位:百万円)



3 樹脂関連事業

売上高 **437** 百万円

前年同四半期比 49.5%増

樹脂関連事業は、当社グループの東洋樹脂株式会社が展開している樹脂リサイクル事業です。当事業は、自動車関連部品材料の需要が拡大したことなどにより、売上高は437百万円(前年同四半期比49.5%増)となりました。

主要製品

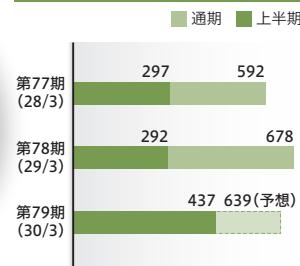
- 廃プラスチックのリサイクル
- リサイクル樹脂ペレットの生産・販売
- プラスチックのコンパウンド受託加工
- 樹脂パウダーの生産



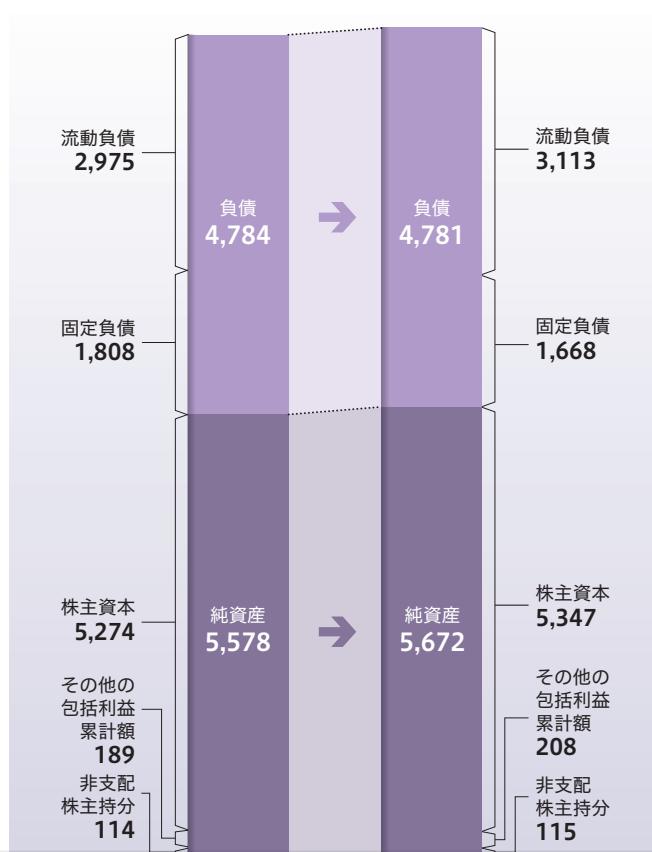
樹脂ペレット



売上高推移 (単位:百万円)



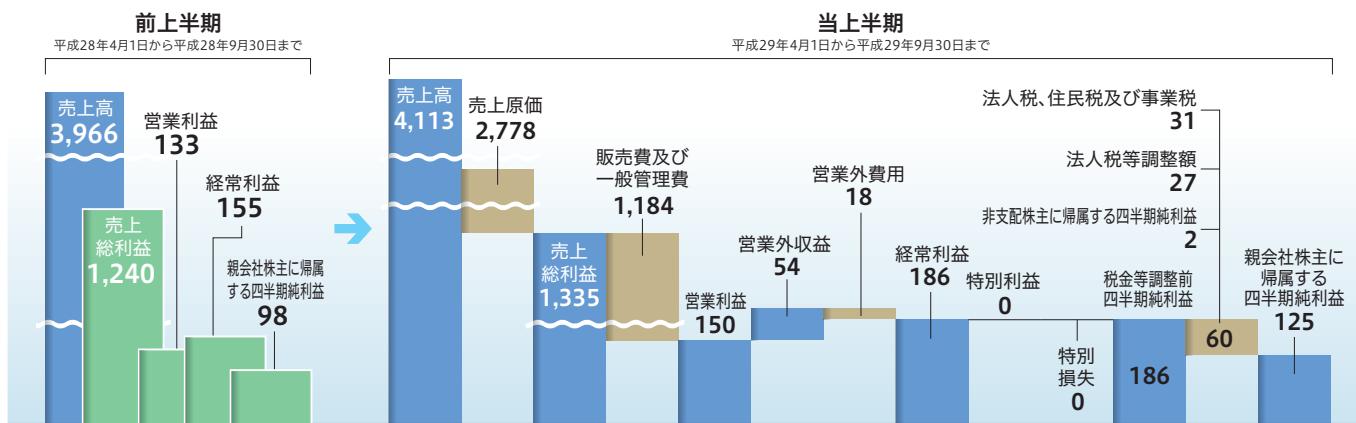
連結貸借対照表の概要 (単位: 百万円)



POINT

総資産は、受取手形及び売掛金が減少したものの、たな卸資産の増加などにより前期末比91百万円増加し、負債は、長期借入金などの固定負債が減少したことなどにより前期末比2百万円の減少となりました。なお、純資産は、利益剰余金の増加などにより前期末比94百万円増加しました。

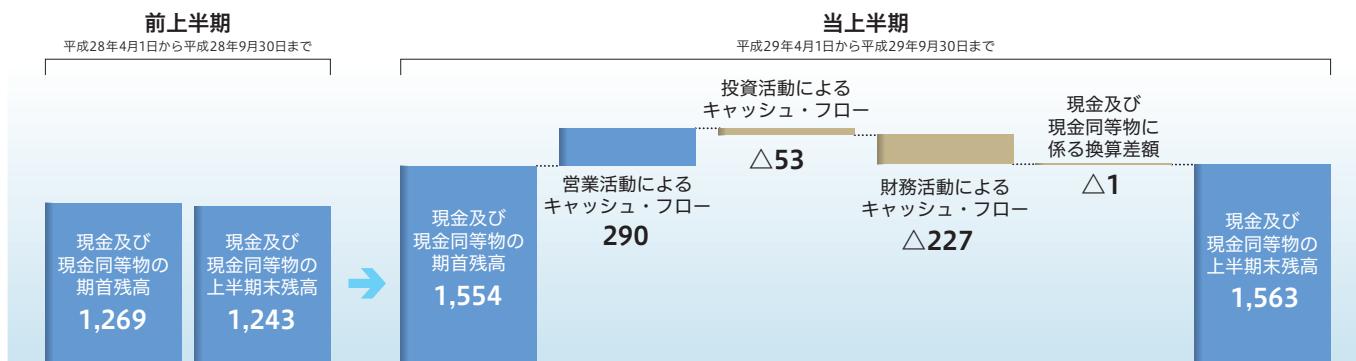
連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)



POINT

当上半期の売上高は、機器部門および樹脂関連事業の売上が増加したことにより3.7%増収となりました。利益面では、販売費及び一般管理費が増加したものの、原価低減に努めたことなどにより営業利益・経常利益ともに増益となりました。その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期比27.4%増益となりました。

連結キャッシュ・フローの概要 (単位: 百万円)



POINT

当上半期の現金及び現金同等物は、前期末に比べ9百万円増加し1,563百万円となりました。営業活動の結果得られた資金は、仕入債務の増加などにより290百万円となりました。投資活動の結果使用した資金は、有形固定資産の取得による支出などにより53百万円となりました。財務活動の結果使用した資金は、長期借入金の返済による支出、配当金の支払額などにより227百万円となりました。

ママの顔 課長の顔

機器事業部 製造部
製造課 課長

清水 真紀

「プレイヤーにはなるな」「全体を見る」。外部で受けた課長職研修で叩き込まれた教えと言う清水さんは、この10月の人事異動で課員6名の資材課係長から正社員・準社員・パートなど60名からなる機器事業部製造課長になったばかり。エレベータセンサをはじめ空間光伝送装置、電力調整器などを製造する生産拠点の1つです。

部品や資材の調達で培った経験が、製造の現場でどこまで活かせるかは未知数ですが、上司からは「仕掛品が多いので何とかしたい」と指示を受けました。

「だれがどんな仕事ぶり、何をにつくっ

ているのか。どんな改善が必要なのか。しっかり見届けたい」「男性管理職が上司や部下の目を気にするあまり、決断がにぶるのをしばしば目にしてきました。いま必要なのは波風を立てても、変えるべきところは変えるという決断かもしれません。女性だからできることもあります」。60名の顔と名前を覚え、一人ひとりと力を合わせて、風通しのよい部署、いいモノづくりができる部署にしたいと抱負を語ります。

清水さんが女性初の係長になったのは平成25年4月。あれから4年の歳月が経ちました。この間、一児の母親になり、1年間の産休・育休を経験しました。現在

も朝9時から午後4時までの時短勤務で、「子どもに急な熱が出て、同僚に迷惑をかけることがあるかも……」と仕事と母親のはざまで悩む、苦しさものぞかせてくれました。

実は1年半前、産休・育休から復職すると、注文書に清水さんの係長印を見つけた仕入先から、「戻って来たんですね」といくつも電話が飛び込んできました。仕入先も私を忘れていなかったという喜びとともに、「仕事を続けてきてよかった」との思いが心の大きな支えになっています。

会社の概況

商号	東洋電機株式会社
設立	1947年(昭和22年)7月
資本金	10億3,708万円
本社・春日井工場	〒486-8585 愛知県春日井市味美町2-156
神屋工場	〒480-0393 愛知県春日井市神屋町字引沢1-39
営業所	東京、名古屋、大阪
関係会社	東洋樹脂株式会社(愛知県小牧市)
	東洋電機ファシリティーサービス株式会社(愛知県春日井市)
	東洋板金製造株式会社(愛知県春日井市)
	南京華洋電気有限公司 (中華人民共和国江蘇省南京市)
	Thai Toyo Electric Co., Ltd. (タイ王国チョンブリ県)
主要取引銀行	百五銀行、商工中金、三井住友銀行、名古屋銀行
従業員数	227名(連結499名)

役員

代表取締役会長	松尾隆徳
代表取締役社長	松尾昇光
専務取締役	松村和成
常務取締役	丹羽基泰 本社管理部門・国内子会社担当
常務取締役	奥村光宏 事業部担当
取締役	加藤信 社長付
取締役	加藤茂男 エンジニアリング事業部長
取締役	鈴木庸史 経営管理本部長兼企画部長
取締役	井澤宏 機器事業部長
取締役(監査等委員)	森正一
取締役(監査等委員)	有賀重介
取締役(監査等委員)	葛谷昌浩

(注)取締役有賀重介及び葛谷昌浩の各氏は、社外取締役であります。

株式の概況

発行可能株式総数	9,000,000株(普通株式)
発行済株式の総数	4,694,475株(自己株式388,823株を含む)
株主数	926名

大株主

株主名	持株数	持株比率
有限会社城西	427千株	9.92%
東洋電機取引先持株会	318千株	7.39%
東洋電機従業員持株会	278千株	6.46%
株式会社商工組合中央金庫	232千株	5.39%
株式会社百五銀行	214千株	4.97%
松尾隆徳	182千株	4.24%
トーヨーテクノ株式会社	144千株	3.36%
松尾昇光	135千株	3.14%
第一生命保険株式会社	125千株	2.90%
日本生命保険相互会社	125千株	2.90%

(注)持株比率については、自己株式(388,823株)を控除して算出しております。

株式分布状況



		ご注意
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	<p>1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。</p> <p>2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。</p> <p>3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。</p>
期末配当金受領株主確定日	3月31日	
中間配当金受領株主確定日	9月30日	
定時株主総会	毎年6月	
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都府中市日鋼町1-1 Tel. 0120-232-711 (通話料無料)	
上場取引所	株式会社名古屋証券取引所 市場2部 (コード6655)	
公告方法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。	
公告のホームページアドレス	http://www.toyo-elec.co.jp/	

第79期中間配当金に関するお知らせ

Information

第79期中間配当金は、平成29年11月7日開催の取締役会で1株につき12円と決議いたしました。
なお、配当金の効力発生日ならびに支払開始日は、平成29年12月4日となります。

(注)[第79期中間配当金支払いに関する取締役会決議ご通知]のご案内は、郵送による発送をやめ、当社Webサイトへの掲載に変更させていただいております。
何卒ご了承くださいませようお願い申し上げます。

ホームページ

<http://www.toyo-elec.co.jp/>

お問合せ先

東洋電機株式会社

〒486-8585 愛知県春日井市味美町2-156
TEL.0568-31-4191 FAX.0568-31-8096

この報告書は植物油インキを使用しております

